

vol. 2199

【発行】大分県高等学校教職員組合教宣部 大分市大字下郡496-38 大分県教育会館
TEL / (097) 556-2838 FAX / (097) 556-8998 MAIL / ohtwu@view.ocn.ne.jp

大分県高教組情報

【発行者】横道 信哉 【印刷】佐伯印刷(株) 【売 価】30円(組合員の購読料は組合費の中に含んで徴収しています)



今号の掲載内容 (掲載順)

- 2019年度がスタート—2019年度高教組本部執行体制
- 2019春闘期のとりくみ！
 - 公務労協 2019春季生活闘争・公共サービスキャンペーン開始2.22中央集会
 - 公務員連絡会 2019春季生活闘争中央行動
 - 連合大分 2019春季生活闘争勝利・第19回統一地方選挙総決起集会
- 2019年度新採用のみなさん

2019年度がスタート — 2019年度高教組本部執行体制 —

2018年度がスタートし、今年も学校に新しい仲間を迎えるシーズンとなりました。学校では「子どもたちの学びを支えよう」と、多様な職種の高教組の仲間たちがそれぞれの役割を担って日々がんばっています。その姿は子どもたちにとっては「働くモデル」であり、私たち高教組の誇りでもあります。

4月より新執行体制もスタートしました。希望をもって語ることでできる職場、子どもたちが光り輝く学校づくりのために、皆さんとともに、高教組運動の前進のために精一杯力を注いで行きたいと思えます。

【本部役員紹介】 ①出身分会 ②担当部、専門部、職組 ③担当支部

	執行委員長 (専従) 大野 真二 ①別府鶴見丘 ②教文部長、賃財、日政連、実習教諭、事務、現業 ③中央		副執行委員長 (専従) 長井 剛 ①鶴崎工業 ②賃財部長、法制部長、総務、生活、実習教諭、養護教諭 ③中津、宇高		副執行委員長 (非専従) 瀬尾 彰一 ①情報科学 ②組織、生活、定通分校、養護教諭 ③佐伯
	書記長 (専従) 利光 祐二 ①大分西 ②総務部長、教宣部長、財政部長、法制、賃財、日政連、女性、学校司書、事務、現業 ③国速杵、別府		書記次長 (専従) 窪田 一真 ①日田三隈 ②組織部長、生活部長、教文、教宣、法制、財政、青年、定通分校、障害児学校 ③久大		執行委員 (非専従) 後藤 昌幸 ①竹田 ②組織、教文、学校司書 ③臼津
	執行委員 (非専従) 茨木 里香 ①鶴崎工業 ②総務、教文、組織、女性、青年 ③大分		執行委員 (非専従) 仁木 史絵 ①竹田支援 ②教文、教宣、財政、障害児学校 ③豊肥		
	書記 葛城美華子 《担当》 賃財、財政、青年、定通分校、学校司書		書記 田邊智恵美 《担当》 総務、教文、教宣、組織、生活、実習教諭、養護教諭、障害児学校		書記 野村 宏美 《担当》 総務、教文、教宣、組織、法制、日政連、女性、事務、現業

* 2019年度 高教組 主要行事日程 (予定)

- | | |
|--|---|
| ○第111回定期大会
と き：6月29日(土) ところ：大分県教育会館 | ○2019年度高教組体育大会
と き：10月20日(日) ところ：別府支部 |
| ○第495回中央委員会
と き：10月中旬 ところ：大分県教育会館 | ○第67次教育研究大分県集会 (県教研)
と き：11月9日(土)、10日(日)
ところ：大分鶴崎高校 |
| ○第496回中央委員会
と き：2月中旬 ところ：大分県教育会館 | |

2019春闘期のとりくみ!

公務労協 2019春季生活闘争・公共サービスキャンペーンを本格的に開始-2/22

公務労協主催、全電通ホール（東京都）で開催された「2019春季生活闘争・公共サービスキャンペーン開始2.22中央集会」は、①連合の春季生活闘争への積極的参加と、各構成組織におけるとりくみの強化に向けた基盤を形成する、②引き続き、大規模災害からの復旧・復興・再生に向けて、公務・公共に従事する労働組合としての社会的責任と役割の具体化に向けて認識の共有をはかる、③2009年通常国会において成立した公共サービス基本法の理念に基づく国および地方自治体における措置の具体化に向け認識の共有をはかることを目的とし、全国から約300人（大分高教組1人）の仲間が結集しました。

集会冒頭、主催者を代表して岡島真砂樹公務労協議長（日教組中央執行委員長）が挨拶に立ち、「公務労協としては、JP労組や協約締結権を有する組織に対する支援や情報共有を行うとともに、各組織の成果を人事院勧告期、確定期の闘争へとつなげていかなければならない。中でも最大の課題は超過勤務の縮減だ。本集会において、私たちがとりまく情勢認識を共有し、構成組織、地方組織が連携を深めながら、2019春季生活闘争と2019良い社会をつくる公共サービスキャンペーンのとりくみをとともに進めていこう」との決意を述べました。



挨拶に続き、福島県公務労協の澤田精一幹事（自治労福島県本部書記長）より情勢報告を、復興庁の米澤朋通参事官より「東日本大震災からの復興の現状と課題」と題した講演を受けました。

最後に吉澤事務局長が、春季生活闘争をめぐる情勢・課題についてふれた上で「残された復興期間は2年だが、地方の当事者任せということになってはならない。国の責任において、国民全体で被災地を支える観点からも、公務労協として重点を置いた対応・対策を行う。春季生活闘争が始まるが、今年の楽観視できない情勢を共有しつつ、直接相場形成に参画できない立場だからこそ、民間組合との連帯を強めながら、この春季生活闘争を闘い抜こう」との基調提起を行い、全体の拍手で確認したのち、岡島議長の団結がんばろうで中央集会を締めくくりました。

公務員連絡会 2019春季生活闘争中央行動を実施-3/14

公務員連絡会は14日、2019春季要求の実現をめざして中央行動を実施しました。全電通会館で開かれた中央集会には、全国の仲間約400人が結集し、大分高教組からも1人が参加しました。賃上げの実現に向け連合のとりくみに結集するとともに、非常勤職員の待遇改善、超勤縮減施策の具体化、段階的定年引上げの早期実現などをめざし、回答指定日に向け闘う決意を固めました。

中央集会では、冒頭、主催者を代表して柴山議長が「2019春闘では、とりわけ賃金については過渡的な賃金決定システムである人事院勧告制度の下、比較企業規模の堅持、賃金・諸手当の引上げの実現が必要である。賃上げの流れを止めること無く、勧告期、さらには確定期に向けた足がかりを確かなものとしなければならない。あわせて、超過勤務の上限規制や、非常勤職員の待遇改善、定年引上げの早期実現などの重要課題についてもとりくみを強化していかなければならない。公務公共サービスに従事する労働者としての尊厳を胸に、自信と確信を持って2019春闘を闘い抜く決意とともに、全国の仲間と本日の行動を貫徹しよう」と強く訴えました。

このあと基調提起に立った吉澤事務局長は、「昨日ヤマ場を迎えた民間春闘について、これまでにない厳しい環境のもと、6年連続のベアを獲得した民間組合の健闘に心より敬意を表する。春季の課題として、政府には、新年度の給与改定について明確な基本的姿勢を引き出すこと、人事院には、精確な官民比較は当然のこと、比較企業規模、比較対応関係について少なくとも現状維持を明確にさせること、が中心となる。定年引上げに関して、今通常国会において法案提出が見送られたのは遺憾であり、60歳前の賃金カーブも含めてその7割という賃金水準について、労働基本権制約の代償機関である人事院の意見の申出と異なる措置は断じてあり得ないものであると、昨日の内閣人事局との交渉の中でも厳しく指摘した。また、超過勤務の上限時間に係る措置について、勤務条件として人事院が人事院規則という法令において各省に義務付ける覚悟を示した。4月以降新たな仕組みのもとで超勤縮減にとりくんでいかなければならない。しかし、あくまでゴールではなくスタートであり、しっかり検証しながら質すべきことを質していく。春闘のとりくみはここからが中小地場、地方連合会をはじめとして、地方における対応の強化が求められる。独立行政法人も含め、各構成組織単組の春闘もこれからが本番だ。重ねて、全体的な対応の強化をお願いし、基調提案とさせていただきます」と提起した。

構成組織決意表明には、上山国公連合・全開発書記次長、悴田自治労群馬県本部書記次長、成瀬林野労組中央執行委員が、それぞれのとりくみ課題を報告し、全力で闘い抜く決意を述べた。集会後、人事院前交渉支援行動では、「職員の賃金を引き上げろ」「非常勤職員の待遇を改善しろ」「超過勤務を減らせ」などの力強いシュプレヒコールや各構成組織からのとりくみ報告が行われた。書記長クラス交渉委員が交渉を終え、合流した後、吉澤事務局長から交渉報告を受け、団結がんばろうでこの日の行動を締めくくりました。

今こそブレイクスルー！すべての労働者の処遇改善と働き方の見直し！
組合員の総力で、働く者・生活者のための政治勢力拡大をめざそう！

連合大分「2019春季生活闘争勝利総決起集会」-3/2

構成組織から約2,000人の組合員が参加し、「底上げ・底支え」「格差是正」に向けた継続的なとり組み、「第19回統一地方選挙の必勝」に向けたとり組みを誓い合いました。

集会では、冒頭の佐藤寛人連合大分会長が挨拶に立ち「月例賃金の底上げにこだわり、雇用形態や性別にかかわらず一人一人の働きの価値に見合った処遇をされる社会をめざす。選挙もある。一枚岩でとり組みを進めよう」と訴えました。

続いて、立憲民主党県連の横光克彦代表（衆議院議員）、国民民主党県連の藤田正道副代表、社民党県連の吉川はじめ顧問（衆議院議員）が挨拶を行ったあと、月例賃金、労働条件の「底上げ・底支え」「格差是正」などを柱とする集会アピールを採択しました。

引き続き行われた「第19回統一地方選挙勝利総決起集会」では、連合大分が推薦している参院選大分選挙区、県知事選、大分市長選、県議選の各立候補予定者計15人がそれぞれ決意表明。松尾竜二副会長の掛け声で、団結ガンパローを三唱し、集会を締めくくりました。また、集会後は駅周辺にて36協定締結を呼びかける「Action36」と「3.8国際女性デー」を踏まえた街頭宣伝行動を行い周知・喚起を行いました。



シリーズ
教室から国会へ

第25回参議院議員通常選挙
全国比例区立候補予定者
「みずおか俊一」に聞く①

7月に予定されている第25回参議院通常選挙に立候補を予定している「みずおか俊一」が、政治家をめざしたきっかけから訴えたい政策についてシリーズでお伝えします。(全6回)

Q 水岡さんが教職員から政治家を目指したきっかけを教えてください。

A 兵庫県教組の役員だった1995年1月17日に「阪神・淡路大震災」を経験しました。避難所となった学校も、



プロフィール●1956年兵庫県生まれ。県立豊岡高校から奈良教育大学に進学。兵庫県三木市の公立小中学校とニューデリー日本人学校で教職に就く。90年から兵庫県教職員組合に勤務し、04年に参議院議員選挙(兵庫県選挙区)初当選。10年に2期目当選。11年内閣総理大臣補佐官、13年参議院内閣委員長を歴任。
住所●神戸市 **趣味**●テニス、スキー、星の写真 他

さまざまな対応が手探り状態であったと記憶しています。その後保護者を失った、いわゆる震災遺児の奨学金の創設にも奔走しました。その経験を国政の場で生かしたい。命を大切に政治を実現させたい。そんな思いで政治の道に進み「被災者生活再建支援法」改正に携わることができたことは鮮明に記憶に残っています。今後も皆さんの声をぜひお聞かせください。

2019年 新採用のみなさん

輝く未来のため、ともにがんばりましょう！

分会名	教科・科目	名前
中津南	国語	武石真穂
中津南	地歴(日史)	三代篤
中津南	理科(化学)	二宮拓也
中津東	商業	堀亜衣里
中津東	実教(工土)	松尾賢一
中津支援	特別支援	中越典子
中津支援	特別支援	小野安佳里
中津支援	特別支援	仲田久美
中津支援	養護教諭	大力央弓

分会名	教科・科目	名前
高田	数学	本田裕太郎
高田	英語	秋吉結衣
宇佐産業科学	家庭	高山紗輝
宇佐	数学	安達諒介
宇佐支援	特別支援	守口緑
宇佐支援	特別支援	宇都宮景
宇佐支援	特別支援	久保さやか
国東	国語	末次亜衣
国東	数学	隅田智之

分会名	教科・科目	名前	分会名	教科・科目	名前
日出総合	養護教諭	財津聡士	新生支援	特別支援	首藤達彦
日出支援	特別支援	藤野しのぶ	大分鶴崎	国語	高井大志
日出支援	特別支援	江口智栄実	大分鶴崎	地理	末延辰夫
日出支援	特別支援	敷島真実	大分鶴崎	英語	岩尾直耶
別府鶴見丘	英語	中山朋子	大分鶴崎	家庭	芳山ももこ
別府鶴見丘	情報	伊藤大貴	鶴崎工業	工業(化学)	西岡邦英
別府翔青	保健体育	佐藤麻依子	情報科学	家庭	入不二路子
別府翔青	芸術(美術)	渡邊友美	情報科学	実教(工機)	豊田良介
別府翔青	商業	後藤裕文	大分東	農業	藤川志津香
別府支援	特別支援	濱尾格	大分支援	特別支援	川野樹里
別府支援	特別支援	田中志歩	大分支援	特別支援	後藤俊大
別府支援	特別支援	小笹瑞代	大分支援	特別支援	松岡智世
南石垣支援	特別支援	東紀秀	大分支援	特別支援	高倉冴子
南石垣支援	特別支援	櫻井那奈	大分支援	特別支援	櫻井美喜子
南石垣支援	特別支援	西将史	大分支援	特別支援	野々下実央
南石垣支援	特別支援	友成勝代	玖珠美山	地歴(日史)	河野友彦
南石垣支援	特別支援	清水葉子	日田	地歴(地理)	安部公章
南石垣支援	特別支援	若杉亮	日田	理科(物理)	工藤督右
大分上野丘	国語	太田圭祐	日田	理科(化学)	荒木菜
大分上野丘	地歴(世史)	徳永和政	日田林工	工業(電気)	児玉一敏
大分舞鶴	数学	後庵隼丈	日田林工	工業(建築)	江藤慎也
大分舞鶴	理科(生物)	山本真澄	日田支援	特別支援	立川真
大分舞鶴	英語	田邊祥司	日田支援	特別支援	佐藤響子
大分舞鶴	養護教諭	大平美晴	日田支援	特別支援	宇木優太
大分雄城台	数学	小溪智紹	三重総合	商業	瀬戸口良典
大分雄城台	英語	若林知沙	久住高原農業	実教(農業)	斎藤栄志
大分南	英語	佐藤優馬	竹田	英語	有馬史織
大分南	福祉	加藤美夕子	竹田支援	特別支援	野尻真子
大分豊府	地歴(世史)	武津麻弥	白杵	数学	阿部江里
大分豊府	数学	高橋央明	白杵	保健体育	世利謙典
大分工業	工業(電気)	武井彰汰	海洋科学	船員	伊達孝樹
大分商業	保健体育	長吉勇典	海洋科学	船員	三浦和丈
大分西	公民	藤川巧	海洋科学	船員	佐野諒
大分西	理科(物理)	河村元太	白杵支援	特別支援	長野康彦
大分西	理科(生物)	柴田桃子	佐伯鶴城	国語	莊田千夏
由布支援	特別支援	津崎有花	佐伯鶴城	英語	秦野力
由布支援	特別支援	三重野綾	佐伯豊南	芸術(書道)	梶原さおり
新生支援	特別支援	川崎成美	佐伯豊南	福祉	堀田琴絵
新生支援	特別支援	大谷保裕	佐伯豊南	実教(農業)	角井洋子
新生支援	特別支援	広瀬優彩	佐伯支援	特別支援	柳谷佳音
新生支援	特別支援	山下富子	佐伯支援	特別支援	石井真美
新生支援	特別支援	井福哲成			

※支援学校採用者の中には義務制採用者を含みます